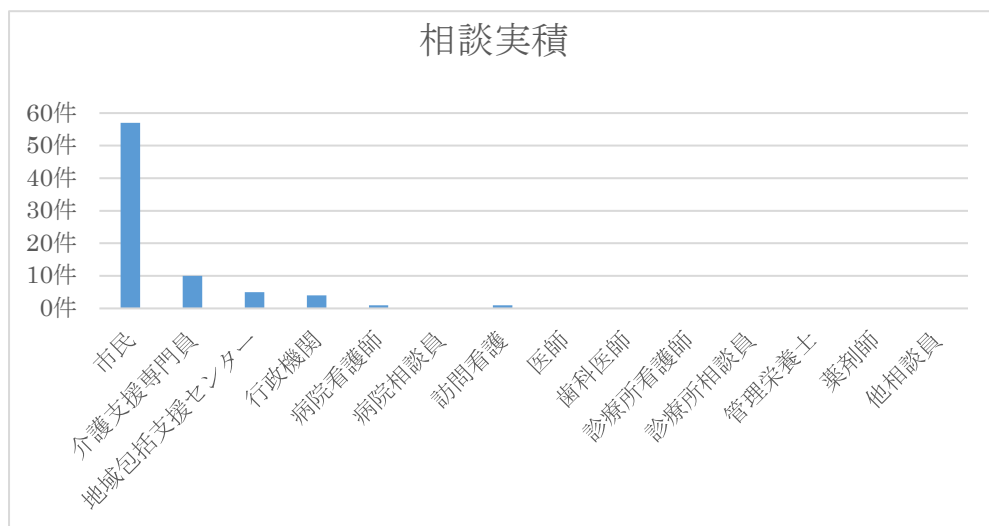


## 1. 令和 6 年 12 月までの相談実績報告

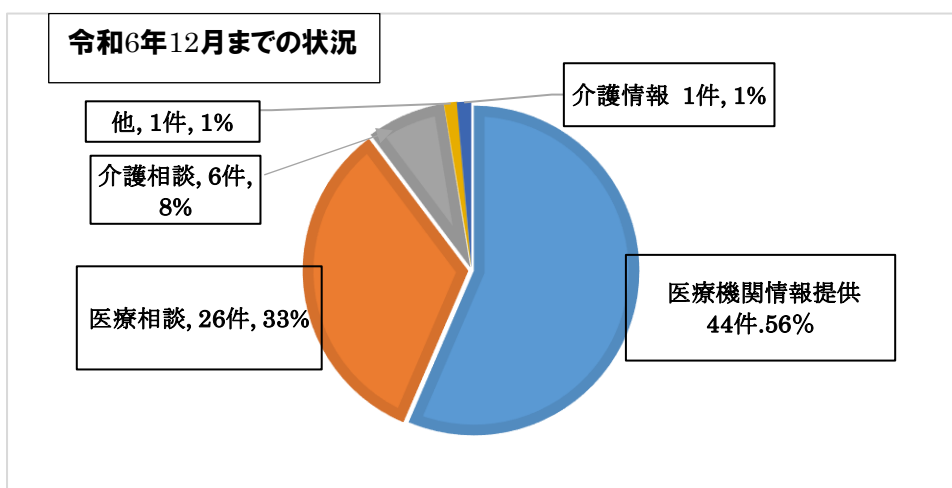
1. 市民 57 件      2. 介護支援専門員 10 件      3. 地域包括支援センター 5 件      4. 行政機関 4 件  
5. 病院看護師 1 件      6. 病院相談員 0 件      7. 訪問看護ステーション 1 件      11 診療所相談員 0 件  
13. 薬剤師 0 件      14. 他相談 0 件      総数新規実数 78 件      相談数 129 件



### (1) 職種別相談者実数内訳

- ・ 市民からの相談が 12 月時点で、73%と医療介護関係者より多い。
- ・ 職種別相談者の内訳からは、地域包括支援センターや行政、訪問看護ステーションとなっている。又昨年同様に介護支援専門員（ケアマネジャー）からの相談も増加している。

### (2) 相談内容からみえる現状



#### 【詳細内容】

- ・ 医療機関情報提供・・・市民、専門職ともに訪問診療や専門の診療科に関する紹介等
- ・ 疾患に関する内容、医療相談・・・昨年より医療相談が増加していて、在宅療養、終末期医療や ACP 意思決定支援についてなどの相談等。
- ・ 介護相談・・・介護保険サービス等の利用に関すること、地域包括支援センターの紹介等

## 2. 活動実績 ※詳細は資料 参照

(相談業務以外の活動実績)

- ・多摩市内医療機関資源リスト、病院相談窓口一覧、訪問看護ステーション一覧、他科併用医療機関リストの情報更新
- ・窓口ニュース企画・作成・配布、専門職種会議等での窓口 PR
- ・医師会と訪問看護ステーション連絡会の企画・運営
- ・専門職種の会での講義
- ・在宅医療連合学会や研修会への参加
- ・コミュニティセンターや地域での、医療・介護に関する講座等

## 3. 相談と活動の実績からみえる現状

- ・支援者より、市民からの相談が増加した。昨年からの多摩市広報への掲載、医師会ホームページのリニューアルの効果があったと考える。窓口ニュースを見ての相談も昨年同様にみられる。
  - ・市民、支援者ともに、退院に向けて訪問診療可能な医療機関や医療依存度の高い方や終末期医療・ケアの受け入れ可能な医療機関の紹介依頼の相談が多い
    - ・市民本人からの相談は生活や病気そのものに関する相談が増加している。在宅療養の事について、また、看取りや意思決定支援に関することが多かった。
- 家族からは、緊急往診や、医療介護サービスの利用の仕方、医療相談が多い。

## 4. 窓口事業の課題

- ・在宅療養者の複雑な背景や疾患などから、様々な医療相談が増加すると考えられる。医療機関の情報の共有を今後もおこない支援者と市民のニーズに答えていく必要がある。
- ・また在宅医療のニーズが増えるので、各機関がより連携強化できるような働きかけや研修会などが必要になると考える。
- ・ICT「メディカルケアステーション(MCS)等」普及啓発につて、災害時などを想定し多職種間のさらなる連携強化を図り有事に活用できるように今から備えていく必要があると考える。
- ・相談の積み重ねを可視化していくため、Q&Aなどの事例集作成などの検討が必要かと考える。